



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月7日

上場会社名 株式会社 ミツ星 上場取引所 東
 コード番号 5820 URL <http://www.kk-mitsuboshi.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 羽生 忍
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 小川 直樹 TEL 06-6261-8882
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	3,543	30.5	224	—	215	776.7	131	576.0
2026年3月期第1四半期	2,714	1.2	20	26.0	24	3.4	19	39.9

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 209百万円 (—%) 2026年3月期第1四半期 △9百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	32.30	27.21
2026年3月期第1四半期	5.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	14,125	7,502	53.0
2026年3月期	13,905	7,245	52.0

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 7,488百万円 2026年3月期 7,231百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	17.00	17.00
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		0.00	—	17.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	5,926	6.4	175	93.7	169	96.5	117	107.5	29.80
通期	12,163	3.7	402	13.2	413	6.5	285	15.6	72.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期1Q	4,479,965株	2026年3月期	4,279,965株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	354,411株	2026年3月期	354,411株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年3月期1Q	4,058,887株	2026年3月期1Q	3,442,354株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済の景気は、緩やかに回復していますが、中東情勢の影響を注視する必要があります。

先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されますが、中東情勢の影響を引き続き注視する必要があります。また、金融市場の変動の影響などにも注意する必要があります。

当社グループに関連する事業環境におきましては、設備投資においては持ち直しの動きがみられ、公共投資は底堅い動きとなっていますが、建設工事コストの上昇、労働者不足、工事遅延などの影響のほか、銅価格の急騰もあり、電線事業は販売が前年同期比では増収で推移しております。ポリマテック事業に関しては、景気回復の見通しが不透明であり、原油価格の高騰による原材料価格の値上がり影響が昨年来の価格改定の効果も出始めておりますが、建材・機能性チューブ関連の国内販売は伸びておりますが、グループ全体としては前年同期比では若干の減収となりました。同様にLED関連商品の販売も当初計画には不十分であり厳しい状況が続いております。電熱線事業におきましては、産業機器等の需要が依然として低迷しておりますが、売上高では前年同期比増収となっています。

このような状況の中、当社グループにおきましては、「私たちは、顧客課題の解決と高付加価値の創出を通じて社会に貢献し、その成果を社員の成長と豊かさにつなげ、持続可能な社会の発展に寄与します」を新たな経営理念として掲げ、基盤事業の更なる強化と将来を見据えた事業ポートフォリオの変革を行い、ESG（環境

(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance))を見据えた経営に努め、業務効率の改善と業績拡大を図り、社会に貢献できる企業であり続けることを目指しております。

単なる製品供給から課題達成型ビジネスを目指した「顧客課題解決企業への転換」、稼ぐ力を高め企業価値を高めるために「資本効率の収益性向上」、景気に左右されない体質を目指した「市況耐性のある収益構造の構築」、全社員を価値創出人材へ育成するために「人的資本経営の強化」を通じて、新規顧客、新製品市場開拓を行い、業績拡大を図ってまいること、お客さまの多様なご要望に応えてまいります。

利益面におきましては、売上高は前年同期比828百万円の増収となり、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益において、対予算、前年同期比とも増益となりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は3,543百万円（前年同期比30.5%増）、営業利益は224百万円（前年同期は営業利益20百万円）、経常利益は215百万円（前年同期比776.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は131百万円（前年同期比576.0%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[電線]

電線事業の主要な市場である建設・電販は首都圏や地方各都市の再開発、半導体工場建設需要等の大型案件を中心に需要は引き続き堅調に推移していますが、一方で建設工事の労働者不足の深刻化、中小工事案件・工期の順延、プランの縮小、再設計などの問題に加え、中東情勢の緊迫化による原油価格の上昇を受け、樹脂を中心とした石油化学由来材料等の価格が高騰しコスト増、および一時的には供給量の制限が発生、更に原料メーカー各社より相次いで2次値上げの依頼がきており、先行きに対する不透明感は依然として拭いきれない状況となりました。

このような状況下で、中東情勢不安の影響により買い込み的な先行発注が増加し、そして全体的に実需的な動きも少し見られた結果、販売銅量では前年同期比ゴム電線・プラスチック共に増加いたしました。国内銅価格は前年同期よりアップし2,220千円/トン（期平均）で推移し、今年6月には2,330千円/トンと過去最高の建値更新がありました。このため、電線事業の売上高は2,708百万円（前年同期比43.5%増）となりました。

利益面におきましては、価格指標の国内銅価は乱高下がありましたが、全体的には上昇傾向の高止まりで、フィリピン子会社のMitsuboshi Philippines Corporationからの仕入による為替の影響等がありましたが、高付加価値製品の販売強化、継続的なコスト削減・抑制、生産性向上等に取り組んだ結果、セグメント利益は255百万円（前年同期比400.8%増）となりました。

[ポリマテック]

ポリマテック事業に関連性のある新設住宅着工戸数の前年対比減少が続く中、当社単体の国内売上は、前年度にアプローチしておりました新規製品の受注が増加したことで、4、5月前年対比で増加に転じました。また、高機能チューブに関しては、輸出向けが増加した事により売上高は前年比43.0%増となりました。反面、フィリピン子会社のMitsuboshi Philippines Corporationの売上が減少したことでセグメント売上高は592百万円（前年同期比4.5%減）となりました。

一方でLED関連商品におきましては、道路照明を主とした案件の増加があります。入札時期、工事時期等遅れは出ているものの3年間取り組んできた大手高速道路案件が確定して第2四半期には結果が出てまいります。

利益面におきましては、中東情勢の影響による（ナフサ急騰）原材料価格・副資材費の高騰の影響を大きく受けましたが、国内売上高の増加、適正価格での販売効果、部門経費削減効果により売上利益率の改善傾向はあるものの、セグメント損失は44百万円（前年同期はセグメント損失30百万円）となりました。

〔電熱線〕

電熱線・抵抗線事業の経営環境につきましては、在庫調整の影響を受けていた、産業機器向け需要がヒーター用途並びに電子部品用途ともに回復したことに加え、AIやデータセンター向け半導体需要の高まりを背景に、半導体に関連したヒーター用途向けも堅調に推移したこと等により、売上高242百万円（前年同期比17.2%増）となりました。

利益面におきましては、原材料価格の上昇や諸資材の値上がりがありましたが、売上の増加等により、セグメント利益は14百万円（前年同期はセグメント損失0百万円）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は8,969百万円となり、前連結会計年度末に比べ54百万円減少しました。これは主に受取手形及び売掛金が114百万円、商品及び製品が95百万円、仕掛品が60百万円増加しましたが、現金及び預金が266百万円、電子記録債権が37百万円、原材料及び貯蔵品が29百万円減少したことによるものであります。固定資産は5,156百万円となり、前連結会計年度末に比べ275百万円増加しました。これは主に有形固定資産が136百万円、無形固定資産が23百万円、投資有価証券が120百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は14,125百万円となり、前連結会計年度末に比べ220百万円増加しました。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は4,086百万円となり、前連結会計年度末に比べ50百万円増加しました。これは主に支払手形及び買掛金が72百万円、短期借入金が25百万円、「その他」に含まれる未払費用が95百万円増加しましたが、電子記録債務が105百万円、賞与引当金が39百万円減少したことによるものであります。固定負債は2,537百万円となり、前連結会計年度末に比べ86百万円減少しました。これは主に「その他」に含まれる繰延税金負債が37百万円増加しましたが、長期借入金が133百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は6,623百万円となり、前連結会計年度末に比べ35百万円減少しました。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は7,502百万円となり、前連結会計年度末に比べ256百万円増加しました。これは主にその他有価証券評価差額金が81百万円、資本金が57百万円、資本剰余金が57百万円、利益剰余金が64百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は53.0%（前連結会計年度末は52.0%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の連結業績予想につきましては、2026年5月12日公表の決算短信に記載しております連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,626,748	2,360,323
受取手形及び売掛金	1,990,999	2,105,502
電子記録債権	979,493	942,050
商品及び製品	2,015,878	2,111,239
仕掛品	357,508	417,829
原材料及び貯蔵品	903,620	874,604
その他	149,488	157,881
流動資産合計	9,023,736	8,969,431
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,427,696	2,447,250
その他(純額)	1,660,305	1,776,852
有形固定資産合計	4,088,001	4,224,102
無形固定資産	70,867	93,961
投資その他の資産		
投資有価証券	634,041	754,107
その他	88,409	84,220
投資その他の資産合計	722,450	838,328
固定資産合計	4,881,320	5,156,393
資産合計	13,905,057	14,125,825
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	862,115	934,958
電子記録債務	1,377,416	1,272,045
短期借入金	551,185	576,991
1年内返済予定の長期借入金	613,599	602,633
リース債務	57,189	40,825
未払金	221,913	200,310
未払法人税等	101,653	88,953
賞与引当金	92,741	53,110
その他	158,094	316,361
流動負債合計	4,035,908	4,086,190
固定負債		
長期借入金	2,122,304	1,988,494
退職給付に係る負債	42,064	43,829
リース債務	62,770	71,616
その他	396,185	433,227
固定負債合計	2,623,324	2,537,168
負債合計	6,659,232	6,623,359

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,273,606	1,330,886
資本剰余金	1,583,582	1,640,862
利益剰余金	4,021,420	4,085,780
自己株式	△142,951	△142,951
株主資本合計	6,735,657	6,914,577
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	400,535	481,715
為替換算調整勘定	61,240	58,996
退職給付に係る調整累計額	33,894	33,641
その他の包括利益累計額合計	495,671	574,352
新株予約権	14,496	13,536
純資産合計	7,245,824	7,502,466
負債純資産合計	13,905,057	14,125,825

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	2,714,847	3,543,478
売上原価	2,260,054	2,859,826
売上総利益	454,792	683,652
販売費及び一般管理費	434,722	458,802
営業利益	20,070	224,849
営業外収益		
受取利息	18	25
受取配当金	194	1,264
受取家賃	1,788	1,788
仕入割引	464	407
為替差益	9,246	—
その他	3,174	4,197
営業外収益合計	14,885	7,681
営業外費用		
支払利息	8,739	10,620
為替差損	—	4,805
支払手数料	697	685
その他	941	954
営業外費用合計	10,378	17,065
経常利益	24,576	215,465
特別損失		
固定資産売却損	147	—
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	147	0
税金等調整前四半期純利益	24,428	215,465
法人税等	5,035	84,371
四半期純利益	19,393	131,094
親会社株主に帰属する四半期純利益	19,393	131,094

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	19,393	131,094
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,564	81,179
為替換算調整勘定	△21,774	△2,244
退職給付に係る調整額	△1,216	△253
その他の包括利益合計	△28,556	78,681
四半期包括利益	△9,162	209,776
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△9,162	209,776

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	63,487千円	62,854千円
のれんの償却額	344	—

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	電線	ポリマテック	電熱線	
売上高				
外部顧客への売上高	1,886,929	620,861	207,056	2,714,847
セグメント間の内部売上高又は振替高	704	—	—	704
計	1,887,634	620,861	207,056	2,715,552
セグメント利益又は損失(△)	50,955	△30,010	△875	20,070

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計
	電線	ポリマテック	電熱線	
売上高				
外部顧客への売上高	2,708,067	592,815	242,594	3,543,478
セグメント間の内部売上高又は振替高	308	36	30	374
計	2,708,376	592,851	242,624	3,543,852
セグメント利益又は損失（△）	255,205	△44,903	14,547	224,849

（注）セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。